

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	釜石市すくすく親子教室		
○保護者評価実施期間	令和7年12月26日		～ 令和8年2月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10人	(回答者数) 6人
○従業者評価実施期間	令和7年12月17日		～ 令和8年1月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々に合わせた安全安心な支援	毎日の支援後の振り返りや記録作成、定例職員会議において、課題点や今後の支援方法について職員間で共有出来るよう努めている。	学校、他事業所など関係機関との情報共有及び連携を強化していく。 研修会等へ積極的に参加し、支援の質の向上を目指す。
2	行政関係部署との連携	行政が運営する事業所であるため、保健、福祉、教育の関係部署との情報共有が迅速に行われている。	こども家庭センターとの連携を強化し、課題の共有やそれぞれの役割分担を整理して、より良い支援提供につなげていく。
3	近隣の公共施設との関わり	放デイ児童が、月1回「お便り配り」のため近隣施設、嘱託医の病院を訪問している。 公民館に出向き、時季に応じたイベントの実施や地域住民の方々と触れ合う機会をもてるよう公民館職員と連携している。	施設を利用する機会は増えたが、児童や地域住民の方々との交流の仕方等について、今後さらに検討を進めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者・きょうだい同士の交流の機会	年1回開催のすくすくっこ祭りでは、保護者やきょうだいと触れ合う場面はあるが、交流までには至っていない。交流イベントの日程の確保・調整が難しい。	児童発達支援利用の保護者を対象とした「父の会」に放課後等デイサービスの保護者にも声がけしてみる。 家族が求める交流の内容、開催日程などアンケートを利用してニーズ調査しあらためて検討する。
2	地域に開かれた事業所運営	感染症対策等の観点から、施設内に地域住民を招いての交流活動は出来ていない。	公民館と連携し、地域住民の方々と交流が出来るような活動内容や日程の設定について検討を進めていく。
3			